

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 25 日作成 3 月追記)

小委員会名	耐震性能小委員会		主 査 名：大崎 純 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小規模の体育館などの空間骨組構造物を対象として、空間骨組特有の現象を十分に考慮した耐震設計法の枠組みを提案する。 ・ 空間構造物の耐震設計と耐震改修の現状と問題点に関する情報を収集し、重層骨組構造とは異なる耐震性能設計法を提案する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	大崎 純(京都大学), 石川浩一郎(福井大学), 諸岡繁洋(東海大学), 青木義男(日本大学), 石原 直(国土交通省)小田憲史(高知高専), 加藤史郎(豊橋技術科学大学), 新宮清志(日本大学), 竹内 徹(東京工業大学), 立道郁生(明星大学), 谷口与史也(大阪市立大学), 元結正次郎(東京工業大学), 山下哲郎(工学院大学), 吉中 進(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	非構造要素の耐震性能評価 WG： 小中学校の体育館やアトリウムなどを対象とし、照明・音響器具や天井材などの非構造要素の地震時の挙動および損傷発生メカニズムについて明らかにする。 空間構造の耐震診断法・改修法に関する調査研究 WG： 現状の体育館の耐震診断法・改修法をサーベイし、これまで耐震性能小委員会を中心に蓄積した知見に照らし合わせ、その問題点や改善点を抽出する。		
2007 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. セミナー「学校体育館等の耐震性能設計」(3 月開催) 参加者数 53 名 (資料名) 学校体育館などの耐震性能設計ガイドライン(案)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 中小規模の体育館などの空間骨組構造物を対象として、空間骨組特有の現象を十分に考慮した耐震設計法の枠組みを提案するため、十分な議論を行うことができた。 2. 重層骨組構造とは異なる耐震性能設計法を提案するためのセミナーを開催した。
委員会活動の問題点・課題	